

SSKP

船橋障害者自立生活センターニュース

2001年7月5日発行 第38号



編集：船橋障害者自立生活センター事務局

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F

郵便振替「00140-9-609088」

TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565

URL：http://www.cil-funabashi.org/

E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org



新事務所に引越しました

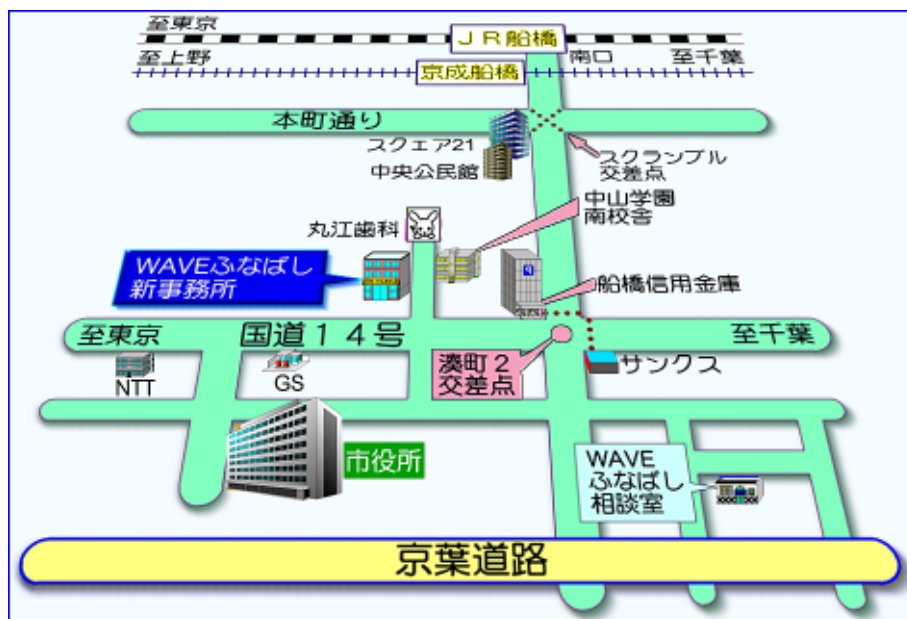
9年間馴れ親しんだ古い事務所よさようなら、広くてきれいな新事務所よこんにちわ。というわけで6月28日、待望の事務所移転を行いました。

みなさんに入りやすい空間を創りましたので、ぜひ1度足をお運びいただけたら、と思っています。

事務局一同、いっそうの活動の充実を目指して決意を新たにしています。会員のみなさまには、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

新しい住所： 〒273-0005

千葉県船橋市本町2-4-4 花島ビル1F



(電話番号、FAX番号などに変更はありません。)

新事務所

開設記念パーティーのお知らせ



前ページでお知らせしたように、当センターでは9年間仕事をしてきた事務所に別れを告げて新しい事務所に移ることになりました。

つきましては、それを記念してささやかなパーティーを開催したいと思います。新装成った事務所をみなさんに見ていただくと同時に、これからの新しい活動に向けて元気が出るような楽しいパーティーにしたいと思いますので、ぜひたくさんの方のみなさんのご参加をお待ちしています。参加ご希望の方はあらかじめセンター事務局までご連絡ください。



日時 7月19日 (木)
午後6:00~8:00
場所 センター新事務所
会費 2,000円
(カンパ、差入れ等大歓迎)



全身性介護人派遣事業がスタートしました

前号でもお知らせしました通り、船橋市では全身性障害者介護人派遣事業をはじめることになり、その制度を利用した実際の介助派遣が6月1日からスタートしました。

この制度は、脳性麻痺などで重い障害を持つ人が自立した生活を営むために必要な介助者を公的に派遣する制度で、今後この制度を利用して自立生活をはじめる障害者がたくさん出てくることが期待されます。

当センターでは、この制度の実施にあたって市から介助派遣についての委託を受けることになりました。つまり、センターの介助派遣の一環として全身性派遣事業の制度が利用できることになったわけです。これを機に5月26日から4回にわたって、全身性障害者の介護人になるための研修会を開催しました。



1回目は、放送大学の三ツ木任一先生と船橋市役所障害福祉課の宇都和人・課長補佐からこの制度の歴史的な成り立ちと船橋市における実際の運用の基本的な考え方について説明がありました。

2回目は、千葉県障害者リハビリテーションセンターの山中力先生と船橋市役所保健指導課の松川基宏・理学療法士のお話で全身性障害者の医学的な面からの理解の仕方についての具体的でわかり易い説明がありました。

3回目は、船橋市の福祉作業所「太陽」で作業療法士をなさっている新田綾子さんから言語障害や社会的経験の不足などからくるコミュニケーションに障害を持つ人たちとの接し方についてお話がありました。

最終回となった4回目は、2回目に講師をお願いした松川さんを中心にして実際に介護にあたる場合の疑問点や不安な点などについてグループディスカッションを交えて活発な意見交換が行われました。



各回とも50人ほどの参加者があり、みなさん熱心にメモをとったり、質問をしたりして介護人の方々の意気込みを感じてわたしたち障害者から見て頼もしく感じられました。

その後、おひとりずつセンター事務局まで来ていただいてお話をした上で介護人として登録の手続きをしている最中です。

この制度は、船橋市の重度障害者の介助保障制度のベースとなるものであり、今後利用者・介助者ともに拡大して充実した制度になることが望まれます。

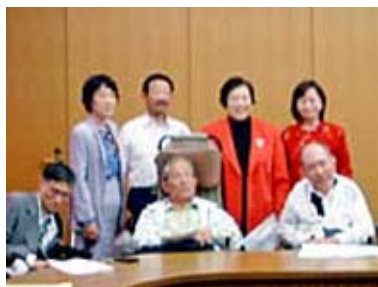
堂本暁子県知事と意見交換を行いました

6月14日(木)に千葉県庁にて堂本知事と面談を行い、要望書の提出および意見交換を行いました。出席者は市原で障害者の自立生活を考える会、CIL浦安ドリームセンター、自立生活センターK2、自立生活センターサポート市川、船橋障害者自立生活センター、ライフツール千葉の団体の方総勢25名でした。なお、要望書の内容は以下の7点です。

自立生活の支援に関する要望書 (抜粋)

千葉県という地域が本当の意味で障害者にとって住みやすい地域になるために次のことを要望いたします。

1. 「県内の各自立生活センターへの運営費助成制度を創設すること」
2. 「全身性障害者介護人派遣制度等の公的介助制度を必要な人には24時間利用できるようなかたちで確立すること」
3. 「東京都などで現在実施されている重度障害者手当に相当するような障害者に対する県独自の所得保障施策を実施すること」
4. 「福祉のまちづくり条例の趣旨が活かされるようなバリアフリー対策を実施すること」
5. 「障害者や関係者の相談にきめ細かく対応し自立への具体的な条件づくりのためにも県内で現在2ヶ所に限られている市町村障害者生活支援事業をほかの市町村にも拡大し、特に自立生活センターへの委託を優先的に考慮すること」
6. 「2003年の障害者施策の転換点にあたっては、当事者団体を交えて検討していく場をつくっていくこと」
7. 「身体障害者だけでなく、知的障害者・精神障害者の介助制度、特にガイドヘルパーの充実を図ること」



第1回理事会のご報告

2001年6月17日(日)に、当センターの特定非営利団体取得の一環として、第1回理事会がカウンセリングルームで開かれました。

当日は経過報告と共に議題として、今年度の事業計画、さらに、6月以降の事業の展開が決定されました。

重点的な事業計画として、会員の拡大に努めるとともに全身性障害舎介護人派遣事業を含めて介助派遣事業の円滑な実施を図るため、介助者・利用者の拡大を目指す、そのためピアカン、ILPなどの受講者の拡大を図るとともに、受講者の一人一人が自立生活をできるようサポート体制をつくっていくことが確認されました。

来年は設立10年にあたり、記念事業の策定に着手します。

6月以降の事業は下記の通りです。

ピア・カウンセリングセミナー
ピア・カウンセリング集中講座
ピア・カウンセリング長期講座
チャリティーコンサート

なお、昨年度決算については、了承され、9月臨時総会で議題として提出することが了承されました。

今年度の人事体制については、下記のように承認されました。

代 表	杉井 和男
副 代 表	山本 明
専務理事	田沼 敏夫

これからは事務所も移転し、新しい発想の元、ここに上げた事業計画を推し進めていかなければなりません。

文責 山本

介助料金改定のお知らせ

5月に会員のみなさんには通知が送られていると思いますが、6月1日より介助料金が改定されました。通常の時間介助は、これまでの1時間900円から1,000円になりました。事務局手数料(1時間200円)は変わらないので、介助者の受取り分は1時間あたり100円増額され、800円になります。

介助時間が連続して5時間を越える場合、これまでは5時間を越える部分についての介助料は1時間500円となっていました。これからは1時間600円となります(事務局手数料は従来通り5時間分だけで、5時間超分についてはいただきません)。

また、宿泊介助はこれまで21:00～8:00の時間枠で一泊2,300円の介助料(介助者受取り分2,000円、事務局手数料300円)でしたが、同じ時間枠で一泊5,000円になりました(介助者受取り分4,400円、事務局手数料600円)。

入浴介助はこれまで1回につき1,500円でしたが、1時間につき1,500円になりました。

移送介助でも介助料は1時間1,000円となりますが、車両利用料は今までどおり1時間1,000円に変わりありません。また本来燃料費を実費でいただくはずだったのに短距離では小額になってしまうからなどの理由でいただいております。これからは走行1kmあたり10円をいただきます。

以下に新しい介助料金の一覧表を載せますのでご覧ください。

介助料金表 (6月より実施)

介助内容	時間	利用者支払額	事務局手数料	介助者受取額
身辺 家事 外出 仕事 運転	0.5	500円	100円	400円
	1	1,000円	200円	800円
	}	}	}	}
	5	5,000円	1,000円	4,000円
	6	6,600円	1,000円	5,600円
	7	7,200円	1,000円	6,200円
入浴	1	1,500円	200円	1,300円
宿泊	1泊	5,000円	600円	4,400円

※燃料費を1 kmにつき10円いただきます。

山崎真弓さんが元気になりました

当センターのメンバーでピアカウンセリングなどでおなじみの山崎真弓さんが昨年7月、急な病気で倒れて療養中ですが、その後の経過も順調でトーキングエイドを使ってコミュニケーションが十分に取れるほどに回復しました。

以下の文章は、倒れたときの状況を克明に記した手記と病床で綴った詩です。いずれも、トーキングエイドを使って書いたものです。特に、倒れたときの状況については現在の不十分な介助体制の中で生きていかなばならない障害者の現状がよく現れており、いろいろな問題を考えさせられる文章だと思います。元気になった報告として掲載しますのでよくお読みください。

平成12年7月25日

トーキングエイドの写し (13. 2. 5)

せっかく育てた、介助者が、急に入院してしまう。明日は船橋へ行って、お昼いっしょに食事を取る介助者だったのに1人でいかなきゃ、それに今日泊まりに行く家の人は、障害者のしよの字も、しらないし、それに行ってくれる介助者の人もはじめてだなどなどと考えながら、実家でひる寝をしていたら、みょうに左手が冷たく痛いので目が覚めた。サワヤカサービスと連絡がとれないので、いつもの様に眠かったが、さわやかサービスの待つ我が家に帰った。

タクシーを待つのに立っている時、気持が悪くなった、その時引き返せば良かったが、倒れにむ程ではなく立っていられたので引き返さずにタクシーに乗った。2、3分しかかさないうちに目の前にデコボコの模様の透明な、ガラスの一部を、ふさがれた気がした。それは数分で治まってまだ坐っていたアパートにつくと、運転手さんが降りてきて、てつだったくれた。

私は、2、3歩あるいたが、左のお腹に力がはいらなくなりよけた。それを見てさわやかサービスさんが、アパートにおいてあった車いすを持ってきて私をのせた。玄関に坐らせた。私は坐っていられずに気持が悪いと云って、横になった。それっきり、しゃべることも、からだを動かす事もできなくなった。気がつくと、さわやかさんが、そのへんに干して

あったバスタオル掛けてくれた。ときおりのぞきこんでは、だいじょうぶと声をかけてくれたが、私は声が出ない、身体もびくともしない、ただ目を開けるだけだった。さわやかさんは、次の介助者に、メモがきを書くと、時間までそばに坐って時間がくると帰ってしまった。しばらくして私はおしっこが出ているのを感じた。そして次の介助者が来た。

その人は、施設の障害者のボランティアはしたことがあるけど、私のは初めてだ。夕食と友達の家を送る介助をたのんだ。その人も私のそばにいただけだった。私は声をかけられれば目を開けるだけ、どこも動かさない、泣くこともできない。だいじょうぶですかと声をかけた。電話が鳴った。携帯電話が鳴り、私に持って来たが、私は目を開けるだけで、なんにも出来なく、動く事も泣く事も出来なかった。そのこは、へんだと感じなかったのか？

私ときょうつうの友達に電話をかけた。そして、まゆみさんが寝ているとだけいった。それを聞いた友達も私がよく、ひる寝をしていたものだから、またひる寝でもしていると思ってしまったらしい。私はそれを聞いていて、どこでどういうふうか、寝ているか早く云って、くれないかなと、やきもきしていたら、電話を切ってしまった。かのじよは9時頃までいて帰ってしまった。

間間のそばの窓が開いていて、7月だった

が寒かった。おしっこがまた出た。呑まないのによく定期的に出るもんだなあーと思いがながら、またねむってしまった。

私の携帯電話が目の前で何回もなっているが、でられない。身体がびくともしない、ただくつをはいている右足が動く。

それで、なんとかしようと、もがいたが床から、もちあげることは出来なかった。そして眠ってしまった。気がつくと、新聞屋が足もとのそばのドアの向こうに来ている。声が出ない。私は胸がゼーゼーコシはじめたのをいいことに、その音が聞こえてほしいと思った。アパートの軒先の通路をパソ実家に帰るところだった。そして実家の寝る部屋でマットから足をだらんと、たらし寝ていた。

窓の外にはママガ立つ台所が見えた。そして目が覚めると外は、薄暗く、雨の音がした。私はまた眠った。足元のドアが開いた。船橋に迎えに行き私がいけないので、心配になってアパートまで見に来た。春香ちゃんとおねえちゃんらしい。2人はものすごいいきおいで私をよんで救急車、救急車とあわてて呼んでくれた。私は、やっと病院に行けた。

倒れて1日たってしまったのはなぜなのか？だれもいかなかったわけでもないのに。私はだれかがいてもよくひる寝をしていた。でもそれは布団の上とか、テレビのある部屋とか、決まった場所ではない。

「おかしいと思ったらおこすべし、そして起きないのならよけいおかしいと思ふべし。」

障害者だから、「おかしい」と思わないのかなあー。

こんなウワサを聞いたことがある。それはさわやかさんの仕事は家事援助と外出援助にわかれていて、家事援助だと体に触っちゃいけないのだという、むしろそうだとすると、私の場合「家事援助でも食事を食べさせてもよい」とさわやかさんのケースワーカーと話を付けてあったはずだ。

私は、自立生活に一生懸命いてさわやかさんにも、介助者にも「私が指示したことやって」と言っていた。それがアダになったとでも言うのかな。いやいやそんな事はない。指

示してやってもらうことは良いことだ。たとえば衣替の時に指示どりにやってくれてうれしかったのをおぼえている。

倒れた時を全然想定していなかった。

さわやかさんもいろんな人がいる。その人は見舞いにも来ないけど、彼女もそうとうビックリしてショックを受けたことだろう。彼女を雇っている所「さわやかサービス」別名を福祉公社とも言う、福祉公社は、柏では「自薦登録ヘルパー制度」の受けおい業者になっている。そのため発言力が大きい。個人の問題にとどまてはいないだろう。ではなぜ、1日たって病院に行くのか、遅れたのだろうか。

私も、何も倒れるとは予想もしていなかった。

福祉公社は、資格が大切だが、私が一番して欲しかったのは異状事態をキャッチして、それを追及して欲しかった。それには私の事が大好きでなければならぬだろう。

病院につくと、ほっとしたのと、気管支炎の熱であまり覚えていないし、そう詳しく書く必要はないだろう。なんせ1年ちかたつものを詳しく書いていたら一生かかっても書ききれない。

みんなが誤解しているだろう。ことと短編的に覚えている事だけ書く事にしよう。まず身体のことだ。見ての通り力が、どこにも入らない。ぐてん、ぐてんのジョーだった。何の反応もできなかった。くすぐられても、注射されてもだ。みんな、わかっているのに泣く事すらできない。脳死かと思われるくらい、どこも動かなかった。なんの反応もできなかった。脳死を、どうやって判定するのかわからないが、こわいものと感じる。私は何の反応もできなかった。注射の痛さや、くすぐったさや、それと動かされれば動いている曲がったぞとかね。目もどこを見ているか、わかんないやと言われていても、それは生まれつきのこと、しっかり見えていたもんね。

※これは1ヵ所も創作した文ではありません
みんな事実です。

船橋のセンターの皆様へ
センターの皆様お変わりありませんか。
皆様には大変ご心配をおかけしました。
シロは何とか手紙を出せるまでになりました。
皆様から頂いた千羽鶴は、私をどんなにはげましてくれたことでしょう。
何も人に意思を伝えられなかった頃、クーラーがききすぎて寒くて震えながら、
パワフルに折られた千羽鶴を見て、「鶴の恩返し」ではないけれど、鶴さん来て、
私を温めて、と想像したものです。
本当にありがとうございました。
何もできないので、私が病院で作った詩を送らせて頂きます。
センターニュースの空きがあった際は、使ってやってください。
先日は、梅雨のあい間に、杉井君に来て頂きありがとうございました。
では、この辺で失礼します。

シロより。山崎真弓

「早く来ないかなあ」

病院では
時間で寝返りうたせてくれる
早く来ないかなあ
あっち向きたいのに

病院では
決まった時間に
バランスの取れた食事が運ばれる
早く来ないかなあ
お腹がすいて死にそうなのになあ

病院では
慣れた人が来ないと
おしっこをおまるで取ってもらえない
早く来ないかなあ
もれちゃうのに



病院では
おやつを一人で食べられない人は
面会者が来ないと食べられない
早く誰かこないかなあ
お腹がぺこぺこなのに

病院では
リハビリ室へ行った時だけ
大さわぎできる
早くこないかなあ
うっぷんをはらしたいのに

こんやは
あんしんして、ねよう
なにか、があっても
すぐかけつけてくれる
かんごふだから

「ちっほけなそらだけど」
かーてんの
びるのすきまの
そらは
ちっほけなそらだけど
はるか かなたとおくへと
みえているんだね
わすれられないあおさだもの

チャリティーバザー

出店にご協力をお願いします

あいかわらず梅雨のじめじめとした時期が続いていますが、いかがお過ごしですか。前号の機関紙でもお知らせしましたが、私たちは、チャリティーバザーを企画しています。



今年は、全身性介助派遣事業を6月1日から始めました。また、NPO法人格を8月に取得する予定です。このようにセンターが大きく展開する年と言っても過言ではありません。しかし、慢性的な財政難はいまだに解消されていません。そこで、センターの収入の確保、センターの事業を地域に広め、より多くの人に知ってもらうことを目的にチャリティーバザーを企画しました。たいへん恐縮ですが、バザーで売り出す商品の提供をお願いします。

こんな品物だったら大歓迎です



本、食器、衣料品、ゲーム、CD、ラジカセ、ウォークマン、その他バザーにふさわしいものなら大歓迎です。また、お中元やお歳暮でもらった新品のタオル、食器、買い替えのときに不要になった小型家電品なども大歓迎です。



バザーの収入はどうするの？

バザーの収益はNPO法人としての活動を続けていくための資金など、センターの運営に役立てます。

バザーの場所は…

7月の産業祭り、JR船橋駅の構内などを予定しています。

バザーを手伝ってくれる人も募集中

商品の提供のほかにバザーを手伝ってくれる人も大歓迎です。手伝う内容は、バザーに出された商品の見極め、値札付け、当日の販売の手伝いなど、いろいろあります。みなさまのささやかなサポートをよろしくお願いします。

事務局の動き

4月

- 11 内部研修
- 11 全身性プロジェクト
- 12 喜樂家訪問
- 13 連絡調整会議
- 17 パソコン教室
- 17 NPO申請書提出
- 17 雇用開発協会訪問
- 18 山越福祉局長と面談
- 19 全身性プロジェクト
- 19 事務局スタッフ歓迎会
- 20 事務局会議
- 21 ライフツール千葉設立総会
- 22 水本さん見舞い
- 23 「泉の里」来訪
- 24 パソコン教室
- 24 職安訪問
- 25 会計監査
- 25 市原・自立を考える会訪問
- 26 全身性プロジェクト
- 27 連絡調整会議
- 29 まちネットふなばし

5月

- 1 パソコン教室
- 6～7 JIIL総会
- 8 パソコン教室
- 9 自立生活プログラム
- 10 全身性プロジェクト
- 13 SSK総会
- 15 パソコン教室
- 16 自立生活プログラム
- 16 介護人研修会打ち合わせ
- 17 全身性プロジェクト
- 17 全身性見積もり検討
- 18 連絡調整会議
- 21 新事務所契約
- 22 パソコン教室
- 23 自立生活プログラム
- 25 事務局会議
- 26 介助講習会
- 29 パソコン教室
- 30 自立生活プログラム
- 30 聖マリア園見学
- 31 介助講習会

6月

- 1 介助講習会
- 4 介助講習会
- 5 パソコン教室
- 6 自立生活プログラム
- 8 連絡調整会議
- 10 山崎真弓氏見舞い
- 12 パソコン教室
- 13 自立生活プログラム
- 14 堂本知事会見

- 15 事務局会議
- 17 第一回理事会
- 19 パソコン教室
- 20 自立生活プログラム
- 20 習志野市障害福祉課長来訪
- 22 連絡調整会議
- 22 山口成子氏お通夜
- 24 八千代市福祉会総会
- 26 パソコン教室
- 27 自立生活プログラム
- 27 ピアネット千葉
- 28 事務所引越し
- 29 事務局会議
- 30 ピアカンセミナー



会員の皆様へ

平成13年度の会費の納入をお願いいたします。会員の約半数の方が未納となっています。なお、自分の会費が支払われているかどうかの確認をとりたい方はお気軽にセンターまでお問合せください。

また、平成12年度の会費の納入がまだ済んでいない方もいらっしゃると思います。速やかに納入してください。よろしく願います。

何らかのご都合で退会をご希望の方は、できるだけ早めにお知らせください。

夏休みのお知らせ

ちょっと気が早いのですが事務局の夏休みのお知らせです。センター事務局では、8月13日から17日まで夏休みとして休業となります。この間の、介助派遣などを希望される方はできるだけ早めにご連絡くださいますようお願いいたします。



カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。厚くお礼申し上げます。(順不同)

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 井村 美絵様 | 永山 美子様 | 奥谷 道子様 | 小川 里様 |
| 亀沢 泰様 | 吉峯 啓晴様 | 金子 和子様 | 高沢 千江子様 |
| 富木 恒雄様 | 富野 和子様 | 山田 詩郎様 | 小栗 よね子様 |
| 松井 亮輔様 | 松川 基宏様 | 松平 敏子様 | 深沢 彬様 |
| 瀬能 義辰様 | 石栗 緋紗子様 | 石栗 利宏様 | 石田 三郎様 |
| 仙波 恒雄様 | 前田 満子様 | 増田 富子様 | 大久保 忠男様 |
| 中山 洋子様 | 朝日 隆宏様 | 堀 和久様 | 板橋 智子様 |
| 福元 高明様 | 平岡 はるみ様 | 豊島 ひろみ様 | |

(社)千葉県建築士会船橋支部 石田文太郎様

(株)和地建築設計事務所内 船橋設計協会様

編集後記

9年間居た事務所から新事務所に移り、私たちのまさに第2ステージが開こうとしています。また、この7月にはNPOの認証も決まる運びとなっており、以前にもまして行動果敢に取り組んでいかねばと、思っております。

どうぞ前にもまして、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。なお、季節柄お体には十分気を付けてまいりましょう。(Y.A)

同封の郵便振替用紙は会費、介助料、カンパなどを送金していただく際にご利用ください。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者定期刊行物協会
頒価 100円